

南海トラフ 巨大地震

南海トラフ（静岡県駿河湾～宮崎県沖の日向灘）というプレート沈みこんでいる場所のできる地震です。歴史的に巨大地震が繰り返り起きていて、今後発生すると、最悪の場合、関東から九州にかけての30都道府県で約32万3千人が死亡すると想定されています。南海トラフ巨大地震は、マグニチュード8～9級を想定しており、今後30年以内の発生確率は70～80%、40年以内は90%程度とされています。

有田川町における想定されている予測震度は、6弱～6強。地震発生直後の停電率は100%、固定電話の不通率も100%、携帯電話は非常につながりにくく、いずれも復旧には数日を要する想定となっています。また、ほぼすべての地域で水道が使えなくなることも想定されています。この規模の大地震が起こったときのための日頃からの心構えと備えはできているでしょうか。最悪の事態を想像した上で、準備をしましょう。

有田川町での建物・人的被害などの想定

震度：6弱～6強

建物被害：全壊 890 棟、半壊 3,200 棟

人的被害：死亡 38 人、重傷者 55 人、軽傷者 490 人

避難者数：1 日後 1,200 人、1 週間後 4,000 人

避難するときの注意点

- 正確な情報を得る
- むやみに動かない
- ガラスなどでけがをする危険があるので、はだしで歩かない
- 通電火災を防ぐため、ブレーカーを落とす
- ガスの元栓を閉める
- 夜間の避難時は転倒や側溝への転落が起こりやすいため、懐中電灯を使い、広い道を通る
- 落下物から身を守る
- 切れた電線を触らない
- 救助活動を行う場合は複数人で行う
- 緊急車両の妨げになるので、車は使わない

▶ 使い方、ご存知ですか？「黄色い旗」

災害が発生した時、町民の皆さまには避難をお願いすることがあります。有田川町では、災害が発生した際、無事を周囲に伝えるため、「黄色い旗」を使用しています。

災害発生後、避難所などに避難するまたは自宅にとどまるといった際に、家族の無事が確認できた場合は、玄関

先に黄色い旗を立ててください。「黄色い旗」はその家族の無事を周囲の方に知らせるために立てるものです。旗の立っていない世帯には声を掛けて避難を促しましょう。転入などで「黄色い旗」をお持ちでない場合は、やすらぎ福祉課（金屋庁舎）へお問い合わせください。

